

# 学力向上に向けた取組

函館市立五稜中学校

## 1 課題

- 基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着
- 自ら考え表現できる生徒の育成（平成21年度 本校の重点教育目標）

## 2 課題解決の具体策

- ① T T，少人数指導体制（習熟度別選択数学）の工夫・改善
- ② 1分間スピーチ発表
- ③ 習熟度別選択国語の工夫

## 3 取組の概要

### ①について

- 全学年の数学・英語について T T（ティームティーチング）を導入し、生徒個々に応じた指導を通して、授業での理解を助け、興味・関心を高め学習意欲の喚起へとつなげる。
- 各学年〔習熟度別選択 数学〕の授業を行う。各单元ごとにテストを行い、習熟度別クラスをその都度編成し直す。2年生は2クラスを5コースに、3年生は3クラスを6コースに細分化し少人数指導を行う。

### ②について

- 朝の会で1分間の発表を行う。

目的：クラス全員の前で発表することにより、発表力の向上を図る。

相手に伝わる発表の内容を考えることにより、文章構成力の向上を図る。

活動方法：学級で順番を決め、毎日交代で行う。

前日までスピーチ原稿を書かせ、担任がチェックする。

発表内容：社会のニュース、スポーツ、学級の出来事、学校行事や地域行事、家庭での出来事について、自分の言葉で発表する。

出来事だけを述べるのではなく、自分の考えや感想を添える。

### ③について

- 基礎的・基本的な言語活動の習得、実践を通して、自分の考えをまとめようとする力を育てる。（1年生）

(1)ディベートのねらい・方法・内容・形式について (2)わかりやすくスピーチをするために (3)バズセッションの仕方・特徴について

## 4 成果と課題

- T T 指導や習熟度別選択数学の授業で、個に応じた指導を行い「わかることの楽しさ」を経験させることで学習意欲を高め、基礎・基本の力がついてきている。
- 積極的に自分の考えを発表する生徒が少ないことから、今年度より研究主題を【言語活動を意識した授業づくり】とした。各教科の授業において言語活動を設定する際、言語意識〔目的意識、相手意識、場面・状況・条件意識、方法意識、評価意識〕の確認を行うことが有効と考える。